



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング

コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長

(氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,344	△2.7	1,245	8.3	1,447	9.3	931	14.2
27年3月期第1四半期	6,520	△3.3	1,149	△11.2	1,323	△13.7	815	△30.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 586百万円 (△26.5%) 27年3月期第1四半期 797百万円 (△46.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	51.50	—
27年3月期第1四半期	42.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	57,164	47,237	82.6	2,811.97
27年3月期	60,474	49,687	82.2	2,745.28

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 47,237百万円 27年3月期 49,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	35.00	—	30.00	65.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期第2四半期末配当金の内訳(普通配当30円00銭、記念配当5円00銭)

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	8.4	2,510	7.5	2,720	8.3	1,730	12.6	94.26
通期	30,800	10.9	5,910	16.4	6,290	16.3	3,980	12.2	216.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	22,720,000 株	27年3月期	22,720,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	5,921,312 株	27年3月期	4,620,912 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	18,084,798 株	27年3月期1Q	19,049,228 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の推進により円安・株高が進行し、企業の設備投資の増加や雇用環境の改善が見受けられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、個人消費の回復の遅れや円安による原材料の高騰、ギリシャの債務問題や中国経済の成長減速など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、レジャーの多様化や消費税の増税等による個人消費の回復の遅れで遊技の参加人口や遊技金額が減少しており、パチンコホールを取り巻く経営環境は厳しいものとなりました。また、小型店が淘汰され大型店が進出する二極化が続き、パチンコホールの軒数は減少しました。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品を販売するとともに、充実したアフターサービス体制で付加価値の向上に努め、他社との差別化を図りながら提案販売を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高63億44百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益12億45百万円（同8.3%増）、経常利益14億47百万円（同9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億31百万円（同14.2%増）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

パチンコ業界では、店舗の大型店化が進む中で運営に必要な人材の確保が困難になってきていることや、他業界に比べて消費税の価格転嫁が遅れていることが、今日のパチンコホール経営における課題となっております。

当社グループの主要システムである「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」は、これらの山積した課題に対して、玉積みをしない新しい遊技スタイルで効率の良いホール経営を実現し、消費税の増税にもホールの方針に沿った形で対応できるシステムであり、パーソナルを中心としたトータルシステムでの販売活動を行いました。新規出店や大規模改装の案件が少なく、設備投資に慎重なパチンコホールが多かったこともあり、パチスロ機向けシステムの販売は前年実績を下回りましたが、パーソナルや景品管理システム、Air紙幣搬送システム「HAYATE（疾風）」は機能面や操作性など市場からの評価は依然として高く、競合他社との販売が厳しい状況の中におきましても導入店舗数は堅実に伸ばしました。

当第1四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は46店舗、当第1四半期連結累計期間末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,490店舗（市場シェア16.3%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は49店舗、導入（実稼働）店舗数は累計2,059店舗（市場シェア22.5%）となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、48億61百万円（前年同四半期比7.1%減）、セグメント利益は11億99百万円（同0.2%減）となりました。

[自動認識システム関連事業]

R F I Dやバーコード等を活用した自動認識システムは、業種を問わず様々なビジネスシーンで活用できるシステムであります。当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、F A市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場をはじめ、広く新規市場展開を目指し提案販売活動を行っております。前期よりUHF周波数帯の新製品開発、価格競争力を有する製品改良、市場投入を行いました。販売状況は依然厳しいものの低迷していた国内製造業の設備投資の緩やかな回復基調とこれら自社製品の販売実績が現れ、前年同期実績を上回ることができました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は11億46百万円（前年同四半期比8.7%増）、セグメント利益は1億18百万円（同181.9%増）となりました。

[ホテル関連事業]

円安や政府の政策を背景に日本を訪れる外国人が増加していることや、国内レジャーが回復傾向にあることから、ホテル業界を取り巻く環境は改善しつつあります。

福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に程近い立地と質の高いサービスが評価され、地域で一番の稼働率を維持することができました。静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、認知度の向上に伴うリピート客の増加やイベントによる利用で稼働率が向上しました。関連事業として、ホテルサンルート博多内に「海鮮処博多松月亭」、東京銀座に「鉄板焼銀明翠GINZA」を運営して1年が経過し、利用者数は順調に推移しました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は3億36百万円（前年同四半期比42.8%増）、セグメント損失は74百万円（前年同四半期は95百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は571億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して33億9百万円減少いたしました。

流動資産は356億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して40億34百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、現金及び預金が24億68百万円減少し134億2百万円、受取手形及び売掛金が9億4百万円減少し43億52百万円となりました。

固定資産は215億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億25百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が8億8百万円増加し61億94百万円となりました。

流動負債は60億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億90百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が9億9百万円減少し1億61百万円となりました。

固定負債は38億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して69百万円減少いたしました。

純資産は472億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億49百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、自己株式が24億92百万円増加し121億24百万円となりました。

自己資本比率は82.6%となり、前連結会計年度末と比較して0.4ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は197億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億68百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は19億96百万円の収入(前年同四半期は9億62百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益14億47百万円、売上債権の減少額9億4百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は14億56百万円の支出(前年同四半期は94百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出13億22百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は30億9百万円の支出(前年同四半期は5億29百万円の支出)となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出25億3百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,871,623	13,402,739
受取手形及び売掛金	5,256,543	4,352,360
リース投資資産	2,453,969	2,505,629
有価証券	6,796,150	6,796,682
商品及び製品	1,857,850	2,184,949
仕掛品	137,141	159,919
原材料及び貯蔵品	1,086,610	1,192,356
その他	6,205,152	5,035,198
貸倒引当金	△23,784	△23,158
流動資産合計	39,641,258	35,606,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,513,938	7,430,401
土地	5,820,805	5,820,805
その他(純額)	562,109	513,285
有形固定資産合計	13,896,853	13,764,492
無形固定資産		
その他	224,409	217,720
無形固定資産合計	224,409	217,720
投資その他の資産		
投資有価証券	5,385,702	6,194,650
その他	1,547,593	1,601,600
貸倒引当金	△221,764	△220,394
投資その他の資産合計	6,711,531	7,575,856
固定資産合計	20,832,794	21,558,069
資産合計	60,474,052	57,164,746
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,455,211	2,611,073
リース債務	1,392,023	1,351,778
未払法人税等	1,070,883	161,020
賞与引当金	444,163	222,654
その他	1,525,498	1,750,684
流動負債合計	6,887,779	6,097,210
固定負債		
リース債務	1,826,042	1,861,180
役員退職慰労引当金	654,025	661,615
退職給付に係る負債	46,267	50,493
資産除去債務	28,121	28,257
その他	1,344,805	1,228,662
固定負債合計	3,899,262	3,830,209
負債合計	10,787,042	9,927,420

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	41,964,219	42,352,684
自己株式	△9,631,613	△12,124,480
株主資本合計	48,638,535	46,534,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,061,184	714,769
退職給付に係る調整累計額	△12,710	△11,577
その他の包括利益累計額合計	1,048,474	703,192
純資産合計	49,687,010	47,237,326
負債純資産合計	60,474,052	57,164,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,520,629	6,344,020
売上原価	3,268,136	3,050,051
売上総利益	3,252,493	3,293,969
販売費及び一般管理費	2,103,133	2,048,774
営業利益	1,149,359	1,245,195
営業外収益		
受取利息	1,151	958
受取配当金	138,246	150,399
その他	35,216	60,868
営業外収益合計	174,614	212,226
営業外費用		
自己株式取得費用	—	10,281
営業外費用合計	—	10,281
経常利益	1,323,973	1,447,140
税金等調整前四半期純利益	1,323,973	1,447,140
法人税、住民税及び事業税	265,862	337,475
法人税等調整額	242,647	178,227
法人税等合計	508,509	515,702
四半期純利益	815,464	931,437
親会社株主に帰属する四半期純利益	815,464	931,437

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	815,464	931,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,217	△346,415
退職給付に係る調整額	3,391	1,133
その他の包括利益合計	△17,826	△345,281
四半期包括利益	797,637	586,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797,637	586,155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,323,973	1,447,140
減価償却費	171,549	151,361
のれん償却額	14,495	—
引当金の増減額(△は減少)	△209,489	△215,914
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△186,675	4,225
受取利息及び受取配当金	△139,397	△151,358
売上債権の増減額(△は増加)	851,350	904,183
リース投資資産の増減額(△は増加)	252,196	△27,512
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,373	△351,423
営業貸付金の増減額(△は増加)	328,217	267,976
仕入債務の増減額(△は減少)	△139,147	155,861
リース債務の増減額(△は減少)	△281,354	△5,106
その他	458,217	915,193
小計	2,390,562	3,094,627
利息及び配当金の受取額	139,397	151,358
法人税等の支払額	△1,567,487	△1,249,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	962,472	1,996,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,945	△18,983
投資有価証券の取得による支出	△6,132	△1,322,251
その他	△46,336	△115,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,414	△1,456,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△2,503,148
配当金の支払額	△529,923	△506,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△529,923	△3,009,380
現金及び現金同等物に係る換算差額	△277	535
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	337,856	△2,468,407
現金及び現金同等物の期首残高	22,565,225	22,217,684
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,903,081	19,749,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月11日開催の取締役会において、会社法165条3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、当該自己株式の公開買付けを実施した結果、平成27年6月30日に普通株式1,300,400株、2,492,866千円を取得しました。

この自己株式の取得等により当第1四半期連結会計期間末における自己株式は12,124,480千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	5,230,602	1,054,463	235,563	6,520,629	—	6,520,629
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	134,241	17,183	831	152,257	△152,257	—
計	5,364,844	1,071,646	236,395	6,672,886	△152,257	6,520,629
セグメント 利益又は損失 (△)	1,201,563	42,070	△95,873	1,147,761	1,598	1,149,359

(注) 1. セグメント利益の調整額1,598千円には、セグメント間取引消去1,598千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,861,347	1,146,388	336,285	6,344,020	—	6,344,020
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	137,452	18,858	5,277	161,587	△161,587	—
計	4,998,799	1,165,246	341,562	6,505,608	△161,587	6,344,020
セグメント 利益又は損失 (△)	1,199,172	118,588	△74,139	1,243,621	1,574	1,245,195

(注) 1. セグメント利益の調整額1,574千円には、セグメント間取引消去1,574千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。